

# 瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

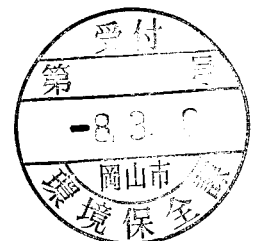
2026年3月30日

申請者の住所及び氏名（法人にあっては所在地、名称、代表者名）

岡山市中区藤崎 675 番地 1  
ナガセヴィータ株式会社  
代表取締役 万代 隆彦

工場又は事業場の所在地及び名称

岡山市北区今保 578  
ナガセヴィータ株式会社 岡山第二工場



## 1 許可申請書の概要

### (1) 特定施設設置（変更）の理由及び内容

岡山第二工場マルトース工場棟のろ過施設（特定施設 47-ロ）の老朽化に伴い、新たにろ過施設（特定施設 47-ロ）を設置し、老朽化したろ過施設（特定施設 47-ロ）を撤去する。

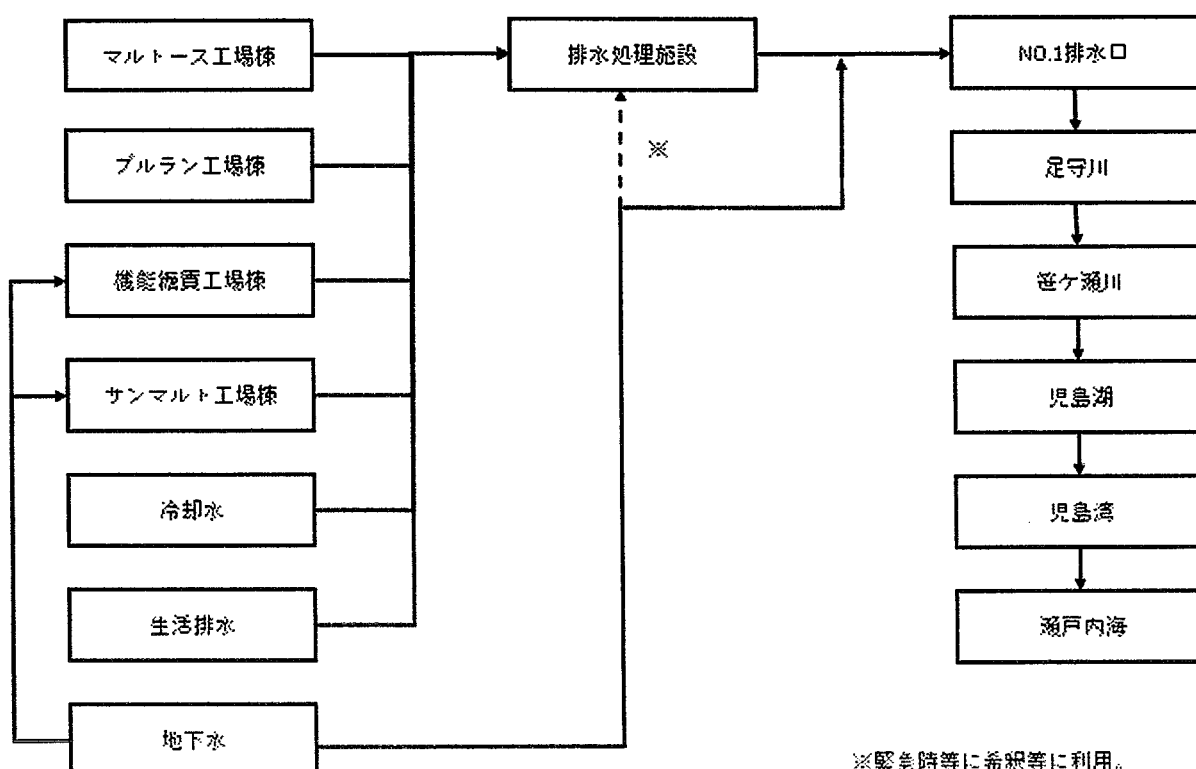
### (2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変らず）の場合は理由

ろ過機の更新、撤去において処理能力は変わらないことから、排出水の汚染状態及び量は変わらない。

## 2 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

### (1) 添付資料1のとおり

### (2) 排水系統及び水系図の略図



3 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値

当該排出水の1日あたりの通常値及び最大の値並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口	区分 項目	現 状			設 置 (変 更) 後			負荷量 の増減
		通常	最大	※負荷 量	通常	最大	※負荷 量	
No.1	排出量(m <sup>3</sup> /日)	5300	5400		5300	5400		
	pH (-)	5.8~8.6	5.8~8.6		5.8~8.6	5.8~8.6		
	BOD (mg/L)	9	20	48.6	9	20	48.6	0
	COD (mg/L)	9	20	48.6	9	20	48.6	0
	S S(mg/L)	10	20	54.0	10	20	54.0	0
	油分 (mg/L)	1以下	1以下		1以下	1以下		
	大腸菌数(CFU/mL)	800	800		800	800		
	T-N (mg/L)	5	20	27.0	5	20	27.0	0
	T-P (mg/L)	0.5	3.0	2.7	0.5	3.0	2.7	0
	ほう素 (mg/L)	0.5	10	2.70	0.5	10	2.7	0
	排出量(m <sup>3</sup> /日)							
	pH (-)							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S(mg/L)							
	油分 (mg/L)							
	大腸菌数(CFU/mL)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							
現状 と 変更 後 の比 較	排出量(m <sup>3</sup> /日)	5300	5400		5300	5400		
	pH (-)	5.8~8.6	5.8~8.6		5.8~8.6	5.8~8.6		
	BOD (mg/L)	9	20	48.6	9	20	48.6	0
	COD (mg/L)	9	20	48.6	9	20	48.6	0
	S S(mg/L)	10	20	54.0	10	20	54.0	0
	油分 (mg/L)	1以下	1以下		1以下	1以下		
	大腸菌数(CFU/mL)	800	800		800	800		
	T-N (mg/L)	5	20	27.0	5	20	27.0	0
	T-P (mg/L)	0.5	3.0	2.7	0.5	3.0	2.7	0
	ほう素 (mg/L)	0.5	10	2.70	0.5	10	2.7	0

※負荷量(kg/日) = 最大排出量(m<sup>3</sup>/日) × 通常水質(mg/L) × 10<sup>-3</sup>

4 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項 目	基準値	項 目	基準値
カ ド ミ ウ ム	0.003 以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下
全 シ ア ン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01 以下
鉛	0.01 以下	テトラクロロエチレン	0.01 以下
六 価 ク ロ ム	0.02 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 以下
ひ 素	0.01 以下	チ ラ ウ ム	0.006 以下
総 水 銀	0.0005 以下	シ マ ジ ン	0.003 以下
ア ル キ ル 水 銀	検出されないこと	チ オ ベ ン カ ル ブ	0.02 以下
P C B	検出されないこと	ベ ン ゼ ン	0.01 以下
ジ ク ロ ロ メ タ ン	0.02 以下	セ レ ン	0.01 以下
四 塩 化 炭 素	0.002 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	ふ っ 素	0.8 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	ほ う 素	1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	1,4-ジオキサン	0.05 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 以下		

(注1) 単位は mg/L

(注2) 「検出されないこと」とは、別に示す方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

(定量限界は、全シアン 0.1mg/L、アルキル水銀及び PCB0.0005 mg/L)

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川、海域名	笹ヶ瀬川			
環境基準点	笹ヶ瀬橋			
環境基準類型	河川B			
基準値	水素イオン濃度	6.5~8.5		
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	3以下		
	化学的酸素要求量 (mg/L)	—		
	浮遊物質量 (mg/L)	25以下		
	溶存酸素量 (mg/L)	5以上		
	大腸菌数 (CFU/100mL)	1000以下		
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	—		

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

- ・なし

5 周辺公共用水域の水質の現状及び排水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1) 海 域

採水機関名		分析機関名	
-------	--	-------	--

測 定 点 名									
採水年月日及び時間	項目 区分	水温	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		(°C)	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	
第1回 年 月 日 時 分 干満の別:	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第2回 年 月 日 時 分 干満の別:	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第3回 年 月 日 時 分 干満の別:	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
総 平 均									
将 来 水 質									

測 定 点 名									
採水年月日及び時間	項目 区分	水温	pH	BOD	COD	SS	T-N	T-P	
		(°C)	(-)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	
第1回 年 月 日 時 分 干満の別:	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第2回 年 月 日 時 分 干満の別:	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
第3回 年 月 日 時 分 干満の別:	水 質 の 現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
総 平 均									
将 来 水 質									

測 定 点 名	
---------	--

採水年月日及び時間	項目		水温 (°C)	pH (-)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	
	区分									
第1回 年月日 時分 干満の別:	水	表層								
		中層								
		平均								
第2回 年月日 時分 干満の別:	質	表層								
		中層								
		平均								
第3回 年月日 時分 干満の別:	現	表層								
		中層								
		平均								
総平均										
将来水質										

(2) 河川

採水機関名	岡山市		分析機関名	岡山県健康づくり財団						
水域測定点名	項目		pH (-)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	ほう素 (mg/L)	流量
	区分									
笹ヶ瀬橋	月	:								
		:								
		:								
	平均		7.7	2.1	4.9	7	1.1	0.15	<0.03	
将来水質										
	月	:								
		:								
		:								
	平均									
将来水質										
	月	:								
		:								
		:								
	平均									
将来水質										

(3) その他当該水域に関する事項

・なし

(4) 予測の方法

① 汚濁負荷量の増加の有無（有 ・ 無）

（ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は、②以下は省略する。）

6 その他当該特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての事前評価に関する参考となるべき事項

・なし

添付資料3-1 特定事業場内排水系統図  
各工場棟から調整槽(変更後)

